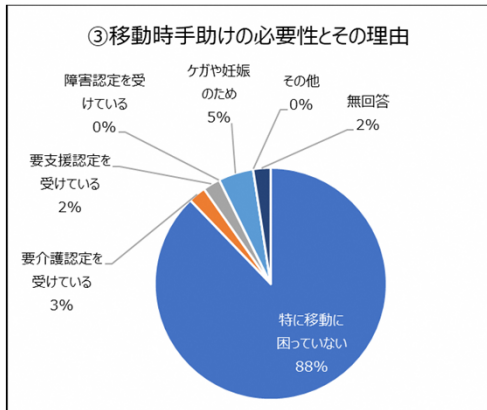
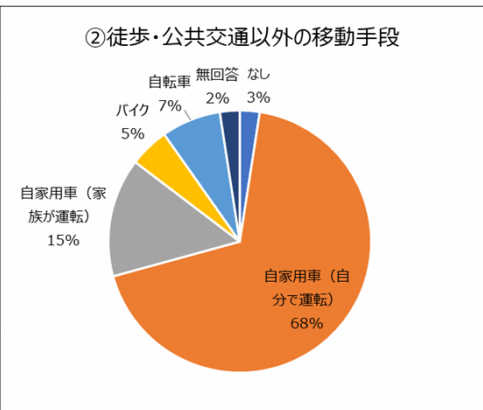
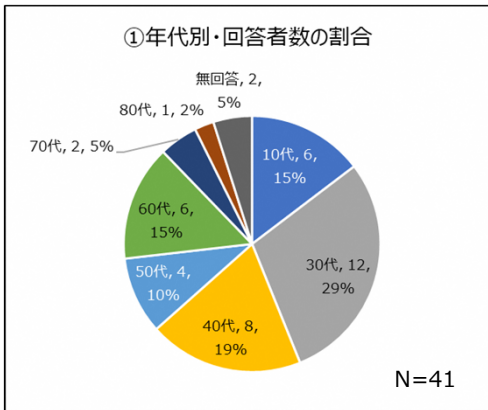


【人口】 3,188人 【世帯】 1,487世帯 ※令和5年6月末時点
 【土地利用】

- 臨海部の大半が工業系の土地利用となっている
- 住居系は、国道58号北側の地区と、空寿崎周辺に見られる
- 国道58号沿線に、広域的な商業機能が集積する
- 米軍施設に隣接する地域には、まとまった緑地やシンカーが見られる

【都市計画マスタープランにおける道路交通課題】

- 西海岸道路、浦添西原線、牧港線などの整備促進が求められる
- 導入が検討されている基幹バスを含めて、利便性の高い公共交通網の確立が求められる
- 歩道の確保や街路樹の維持管理など、安心して快適に利用できる歩行者空間の形成が求められる



移動手段	移動手段別の課題	回答者年齢区分			総計
		10代以下	20~60代	70代以上	
徒歩	移動範囲が狭い	0	7	1	8
	荷物が多いと大変	1	10	1	12
	近い将来移動が困難になる	0	1	0	1
	交通事故が不安	0	2	1	3
	天候に左右される	1	10	1	12
	歩道・自転車専用道路がない	0	3	0	3
自転車	荷物が多いと大変	0	4	1	5
	交通事故が不安	0	6	0	6
	自転に乗れない	0	1	0	1
	駐輪場が無い	0	1	0	1
シェアサイクル	天候に左右される	3	6	1	10
	歩道・自転車専用道路がない	0	3	0	3
	荷物が多いと大変	0	1	0	1
	交通事故が不安	0	1	0	1
バイク	自宅や目的地からポートが遠い	1	3	0	4
	借りられない事がある	0	1	0	1
	駐輪場が無い	0	1	0	1
	天候に左右される	0	2	0	2
車(自分)	お酒が飲めない	0	1	0	1
	交通事故が不安	0	2	0	2
	購入費、維持管理費が高い	0	1	0	1
	渋滞で時間が読めない	0	1	0	1
車(家族)	天候に左右される	0	5	0	5
	目的地付近で駐車場を探すのが大変	0	2	0	2
	お酒が飲めない	0	4	0	4
	近い将来運転できなくなる	0	0	2	2
車(施設)	交通事故が不安	0	6	1	7
	購入費、維持管理費が高い	0	16	0	16
	渋滞で時間が読めない	0	14	1	15
	目的地付近で駐車場を探すのが大変	0	7	1	8
タクシー	家族に負担がかかる	0	5	1	6
	交通事故が不安	0	6	0	6
	自由に移動できない	1	1	0	2
	渋滞で時間が読めない	0	3	0	3
モーター	交通事故が不安	0	1	0	1
	自由に移動できない	0	3	0	3
	渋滞で時間が読めない	0	4	0	4
	乗降場所が遠い	0	2	0	2
バス	運賃が高い	0	10	2	12
	荷物が多いと大変	0	1	0	1
	呼んでも来ない、探せないときがある	0	3	0	3
モルレール	時間が読めない	0	1	0	1
	運賃が高い	0	10	2	12
	荷物が多いと大変	0	1	0	1

移動手段	移動手段別の課題	回答者年齢区分			総計
		10代以下	20~60代	70代以上	
バス	バス停または駅から目的地まで遠い	0	3	1	4
	運賃が高い	0	4	0	4
	家からバス停または駅が遠い	0	2	1	3
	荷物が多いと大変	0	6	1	7
	時間が読めない	0	12	1	13
	乗り換えなしといけない	0	4	0	4
	乗継が不便	0	5	0	5
	遅い時間に使えない	0	4	1	5
モルレール	バス停または駅から目的地まで遠い	0	5	1	6
	運賃が高い	0	5	0	5
	家からバス停または駅が遠い	0	11	2	13
	荷物が多いと大変	0	3	1	4
	乗り換えなしといけない	0	1	0	1
乗継が不便	0	5	1	6	
総計		8	231	24	263

回答者の傾向

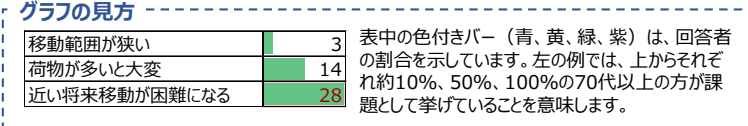
- 30~40代の回答割合が多く、20代からの回答が無かった
- 自家用車 (自分で運転、家族が運転) 合わせて約83%が車で移動しており公共交通以外に移動手段が無い回答者は3%
- 移動時の手助けについては合わせて約10%が必要としている

移動手段毎の課題傾向

- 車 (自分) の「購入費、維持費が高い」、タクシーの「運賃が高い」との意見が多く、70代以上では車 (自分) の「近い将来運転できなくなる」と言った意見が多いことから低コストな移動手段が望まれている
- 車 (自分) およびバスの「時間が読めない」との意見が多いことから、バスの定時性向上によって車からの転換が期待される
- モルレール沿線から離れていることから「家からバス停または駅が遠い」という意見が多い

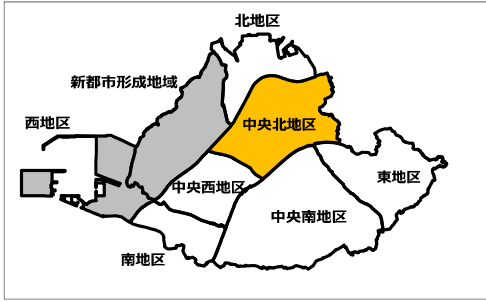
市民ワークショップにおける主な意見 (中央北地区との合同開催)

- 市内循環バス (EV)
- 各自治会内を運行する小さくて頻度の高いゆったりとした循環バス
- 各モルレール駅と地域をつなぐ循環バス
- NPO (アルバイト的にシルバー人材など登録制ドライバーを集める) による運行
- 自治会が住民に対する説明会を開くなど周知を図る
- 自治会が行事などで積極的に利用する
- 公共交通体験をSNSで発信 (公共交通の情報を発信)

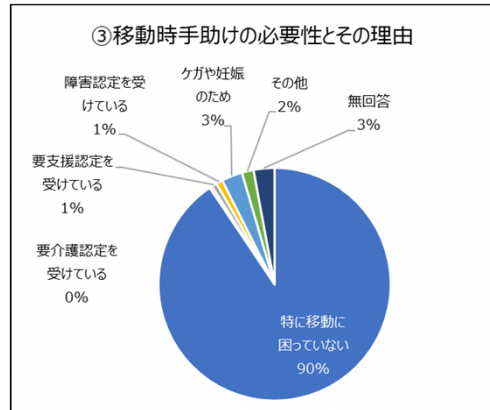
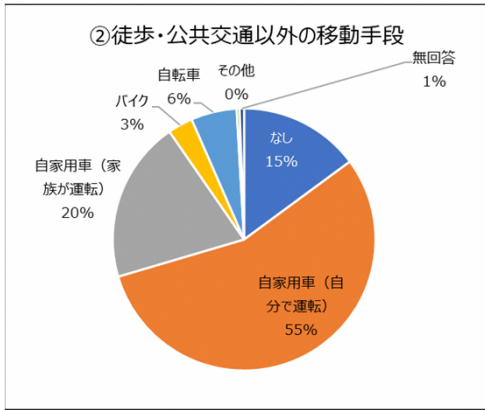
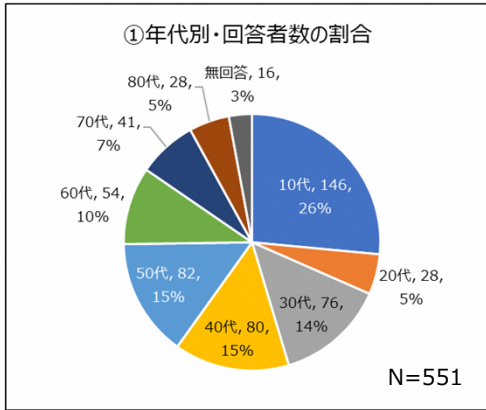


市民アンケート調査（市民の移動実態調査） 地区別集計

【中央北地区】



【人口】 32,036人 【世帯】 14,560世帯 ※令和5年6月末時点
 【土地利用】
 ・ 国道58号、パイプライン通り及びサンパーク通り沿いに商業系の土地利用が見られる
 ・ 伊祖公園一帯や牧港川沿いに緑地が見られる
 ・ その他は住居系であるが、一部に比較的規模の大きな工場が混在している
 【都市計画マスタープランにおける道路交通課題】
 ・ パイプライン通りの拡幅整備の促進が求められる
 ・ 歩道確保や街路樹の維持管理など、安心して快適に利用できる歩行者空間の形成が求められる
 ・ 牧港川沿いにおける自転車道やウォーキングコースの整備検討が求められる
 ・ コミュニティバスや既存のバス網を含め、公共交通の利便性の向上が求められる
 ・ 浦添西原線におけるシンボルロードの形成が求められる



移動手段	移動手段別の課題	回答者年齢区分			総計
		10代以下	20~60代	70代以上	
徒歩	移動範囲が狭い	28	103	21	152
	荷物が多いと大変	50	181	18	249
	近い将来移動が困難になる	4	27	10	41
	交通事故が不安	13	23	5	41
	自転車に乗れない	7	8	2	17
	天候に左右される	47	186	16	249
	歩道・自転車専用道路がない	9	47	1	57
自転車	お酒が飲めない	1	11	1	12
	移動範囲が狭い	5	9	1	15
	荷物が多いと大変	9	45	1	55
	近い将来移動が困難になる		9	1	10
	交通事故が不安	6	34	6	46
	自転車に乗れない	4	14	12	30
	自転車購入費が高い	5	14	1	20
	駐輪場が無い	4	28		32
	天候に左右される	13	65	2	80
	歩道・自転車専用道路がない	4	56	3	63
シェアサイクル	お酒が飲めない	3	2		5
	移動範囲が狭い	2	10		12
	荷物が多いと大変	3	32	1	36
	近い将来移動が困難になる		2		2
	交通事故が不安	2	20	1	23
	自宅や目的地からポートが遠い		52	1	53
	自転車利用料金が高い	1	16		17
	借りられない事がある	1	15		16
	駐輪場が無い	1	22		23
	天候に左右される	3	44		47
バイク	歩道・自転車専用道路がない	1	29	1	31
	お酒が飲めない	1	16		17
	近い将来運転できなくなる	2	7		9
	交通事故が不安	3	44	1	48
	購入費、維持管理費が高い	5	12		17
	渋滞で時間が読めない	1	5		6
	天候に左右される	3	48		51
目的地付近で駐車場を探すのが大変	1	8		9	
車(自分)	お酒が飲めない	3	64	2	69
	近い将来運転できなくなる		31	20	51
	交通事故が不安	2	98	7	107
	購入費、維持管理費が高い	5	157	3	165
	渋滞で時間が読めない	3	137	4	144
車(家族)	目的地付近で駐車場を探すのが大変	2	124	7	133
	家族に負担がかかる		24	83	119
	交通事故が不安		9	72	84
	自由に移動できない		10	44	60
渋滞で時間が読めない		30	71	102	

移動手段	移動手段別の課題	回答者年齢区分			総計
		10代以下	20~60代	70代以上	
車(施設)	交通事故が不安	6	24	2	32
	自由に移動できない	1	44	6	51
	渋滞で時間が読めない	4	42	2	48
	乗降場所が遠い	2	29	1	32
	運賃が高い	25	157	21	203
タクシー	荷物が多いと大変	2	9	2	13
	呼んでも来ない、探せないときがある	11	130	13	154
	時間が読めない	4	30	3	37
	バス停または駅から目的地まで遠い	11	81	8	100
バス	運賃が高い	16	33		49
	家からバス停または駅が遠い	16	95	14	125
	荷物が多いと大変	20	112	15	147
	時間が読めない	30	145	13	188
	乗り換えないといけない	4	69	3	76
	乗継が不便	7	70	3	80
	遅い時間に使えない	2	14	3	19
	バス停または駅から目的地まで遠い	4	64	4	72
モノレール	運賃が高い	6	19		25
	家からバス停または駅が遠い	16	183	22	221
	荷物が多いと大変	5	62	3	70
	乗り換えないといけない	2	25	8	35
	乗継が不便	2	25	9	36
遅い時間に使えない	1	6	1	8	
総計		527	3,593	326	4,446

回答者の傾向

- 10代の回答割合が多い
- 自家用車（自分で運転、家族が運転）合わせて約75%が車で移動しており公共交通以外に移動手段が無い回答者は15%
- 移動時の手助けについては回答者の約7%が必要としている

移動手段毎の課題傾向

- 牧港や港川から安波茶にかけて傾斜が大きいことなどから、徒歩移動に関する課題が多く見られる
- 車（自分）における維持費やタクシーの運賃、バスの時間が読めないなどの課題が多く、低コストで定時性の高い移動手段が望まれている
- タクシーを呼んでも来ない、探せないことがあるとの意見も比較的多い
- 10代以下では車による送迎において家族に負担をかけている意識が高い事が伺える
- モノレール沿線から離れていることから「家からバス停または駅が遠い」という意見が多い

市民ワークショップにおける主な意見（北地区との合同開催）

- 北地区を参照

市民アンケート調査（市民の移動実態調査） 地区別集計



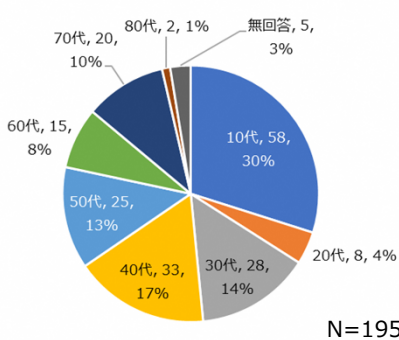
【人口】 13,831人 【世帯】 6,133世帯 ※令和5年6月末時点
【土地利用】

- ・ 県道241号線沿線で商業・業務施設の立地が見られる
- ・ また大規模な斜面緑地が浦添大公園、浦添墓地公園等の公園として残されている
- ・ 牧港川の上流には一部農地が残っている

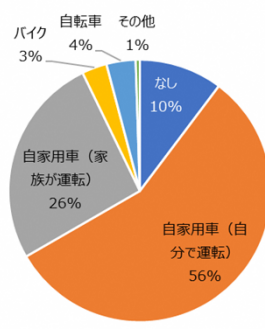
【都市計画マスタープランにおける道路交通課題】

- ・ 環状道路の早期実現に向けた取り組みが求められる
- ・ 沖縄都市モノレールと連携した利便性の高い公共交通網の確立が求められる
- ・ 歩道の確保や街路樹の維持管理など、安心して快適に利用できる歩行者空間の形成が求められる
- ・ 牧港川沿いを活用した自転車道やウォーキングコースの整備検討が求められる
- ・ 既存バス網やコミュニティバスを含め公共交通の利便性の向上が求められる

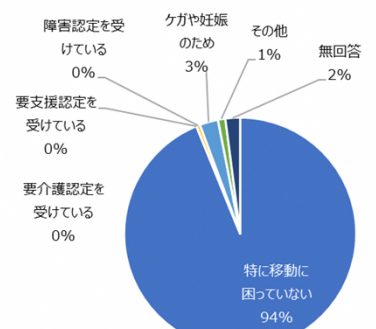
①年代別・回答者数の割合



②徒歩・公共交通以外の移動手段



③移動時手助けの必要性和その理由



移動手段	移動手段別の課題	回答者年齢区分			総計
		10代以下	20~60代	70代以上	
徒歩	移動範囲が狭い	12	35	6	53
	荷物が多いと大変	24	64	5	93
	近い将来移動が困難になる	1	7		8
	交通事故が不安	6	13		19
	自転車に乗れない	1	2	1	4
	天候に左右される	19	65	6	90
	歩道・自転車専用道路がない	3	16	1	20
自転車	お酒が飲めない		1		1
	移動範囲が狭い	1	7	1	9
	荷物が多いと大変	2	17	1	20
	近い将来移動が困難になる			1	1
	交通事故が不安	4	18	3	25
	自転車に乗れない		2		2
	自転車購入費が高い		8		8
	駐輪場が無い	2	11		13
	天候に左右される	6	24	1	31
歩道・自転車専用道路がない	2	15	1	18	
シェアサイクル	お酒が飲めない		1		1
	移動範囲が狭い	1	4		5
	荷物が多いと大変	1	13		14
	交通事故が不安	2	9		11
	自宅や目的地からポートが遠い		19		19
	自転車利用料金が高い	1	7		8
	借りられない事がある	1	9		10
	駐輪場が無い		5		5
	天候に左右される	3	18		21
	歩道・自転車専用道路がない	1	11		12
バイク	お酒が飲めない		5		5
	近い将来運転できなくなる	1	2		3
	交通事故が不安	1	11		12
	購入費、維持管理費が高い	1	4		5
	渋滞で時間が読めない	1	3		4
	天候に左右される		15		15
	目的地付近で駐車場を探すのが大変	1	1		2
	お酒が飲めない		21	3	24
車(自分)	近い将来運転できなくなる	1	14	5	20
	交通事故が不安	1	31	3	35
	購入費、維持管理費が高い	1	57	2	60
	渋滞で時間が読めない		53	1	54
	目的地付近で駐車場を探すのが大変		47	1	48
	家族に負担がかかる	15	34		49
	交通事故が不安	7	28		35
車(家族)	自由に移動できない	9	15		24
	渋滞で時間が読めない	15	25	1	41

移動手段	移動手段別の課題	回答者年齢区分			総計
		10代以下	20~60代	70代以上	
車(施設)	交通事故が不安	4	11		15
	自由に移動できない	1	11		12
	渋滞で時間が読めない	3	19		22
	乗降場所が遠い	1	10		11
タクシー	運賃が高い	10	46	4	60
	荷物が多いと大変	2	3	4	9
	呼んでも来ない、探せないときがある		43	5	48
バス	時間が読めない		8		8
	バス停または駅から目的地まで遠い	5	25		30
	運賃が高い	7	12		19
	家からバス停または駅が遠い	8	18		26
	荷物が多いと大変	8	29	4	41
	時間が読めない	22	47	5	74
	乗り換えなしといけけない	5	27	1	33
	乗継が不便	3	27	1	31
	遅い時間に使えない	1	6		7
モノレール	バス停または駅から目的地まで遠い	6	25		31
	運賃が高い	5	10		15
	家からバス停または駅が遠い	13	52	4	69
	荷物が多いと大変	8	34	1	43
	乗り換えなしといけけない	1	7	1	9
乗継が不便		4		4	
遅い時間に使えない	1	2		3	
総計		261	1,243	73	1,577

回答者の傾向

- ・ 10代の回答割合が多い
- ・ 自家用車（自分で運転、家族が運転）合わせて約82%が車で移動しており公共交通以外に移動手段が無い回答者は10%
- ・ バイクや自転車の利用割合が他地区に比べて低い

移動手段毎の課題傾向

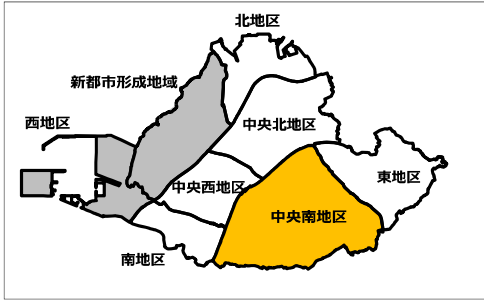
- ・ 当山地区や前田3丁目周辺が窪地になっており、周囲との高低差があることなどから徒歩移動に関する課題が多く見られる
- ・ 他地域と同様に車（自分）では維持費や渋滞、タクシーでは運賃や探せないことがある、バスでは時間が読めないなどの課題が多い
- ・ 10代以下、20~60代において車による送迎に対して家族に負担をかけているという意識が高い事が伺える
- ・ 浦添前田駅でだこ浦西駅までの直線距離は近いものの、道なりでは比較的遠く、勾配も大きい事から「家からバス停または駅が遠い」という意見が多い

市民ワークショップにおける主な意見（中央南地区との合同開催）

- ・ ドアtoドアの乗合バス、生協の移動販売と併せた輸送サービス、駅に結節している市内一周バス
- ・ 公共交通に関するフライヤー（紙・デジタル）を作成し自治会を中心に周知
- ・ 乗り方体験会の開催 など

市民アンケート調査（市民の移動実態調査） 地区別集計

【中央南地区】



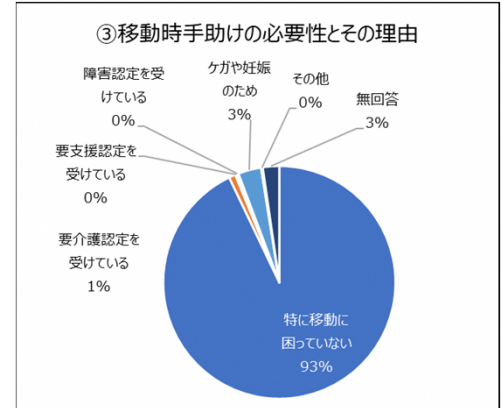
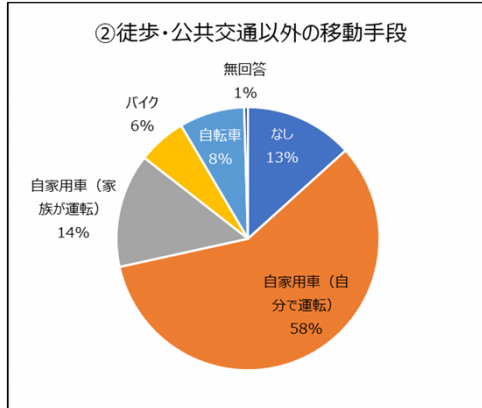
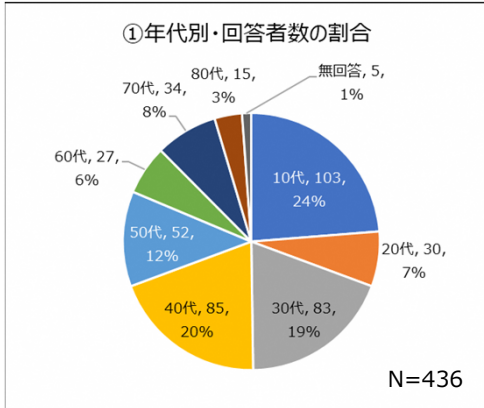
【人口】 28,441人 【世帯】 12,689世帯 ※令和5年6月末時点

【土地利用】

- 行政文化の中心となる地区で市民会館、美術館、社会福祉センター、図書館等の公共施設が集約している
- 丘陵地には斜面林に囲まれた良好な住宅地が広がっている
- 浦添西原線と県道153号線沿線の一部に商業系の土地利用が見られる
- 地区南側では土地区画整理事業により、新たな住宅地が形成されている

【都市計画マスタープランにおける道路交通課題】

- 沖縄都市モレールの整備促進を含め、公共交通の利便性向上が求められる
- 地域における交通円滑化が求められる
- 河川沿いを活用した遊歩道やウォーキングコースの整備検討が求められる
- 歩道の確保や緑陰、ポケットパークの整備など安全で快適な歩行者空間の形成が求められる



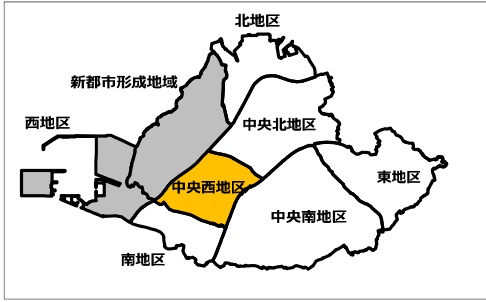
移動手段	移動手段別の課題	回答者年齢区分			総計
		10代以下	20~60代	70代以上	
徒歩	移動範囲が狭い	16	94	14	124
	荷物が多いと大変	32	160	15	207
	近い将来移動が困難になる	3	20	8	31
	交通事故が不安	8	32	4	44
	自転車に乗れない	1	8	2	11
	天候に左右される	39	163	16	218
	歩道・自転車専用道路がない	12	43	2	57
自転車	お酒が飲めない		11		11
	移動範囲が狭い	3	12	1	16
	荷物が多いと大変	17	51	1	69
	近い将来移動が困難になる		5	2	7
	交通事故が不安	11	33	5	49
	自転車に乗れない	2	7	7	16
	自転車購入費が高い	4	15	3	22
シェアサイクル	駐輪場が無い	4	23	2	29
	天候に左右される	20	64	2	86
	歩道・自転車専用道路がない	8	51	1	60
	お酒が飲めない	2	5		7
	移動範囲が狭い	4	9		13
	荷物が多いと大変	2	24	2	28
	近い将来移動が困難になる	3	2	2	7
バイク	交通事故が不安	8	18	2	28
	自宅や目的地からポートが遠い	3	35	4	42
	自転車利用料金が高い	1	14	3	18
	借りられない事がある	1	19	2	22
	駐輪場が無い	4	13		17
	天候に左右される	9	38	1	48
	歩道・自転車専用道路がない	6	20	4	30
車(自分)	お酒が飲めない		12		12
	近い将来運転できなくなる	1	2	1	4
	交通事故が不安	6	23	3	32
	購入費、維持管理費が高い	1	12	2	15
	渋滞で時間が読めない	1	8		9
	天候に左右される	3	40	2	45
	目的地付近で駐車場を探すのが大変	1	7	1	9
車(家族)	お酒が飲めない	3	66	1	70
	近い将来運転できなくなる		26	13	39
	交通事故が不安	1	86	6	93
	購入費、維持管理費が高い	3	131	4	138
	渋滞で時間が読めない		130	4	134
	目的地付近で駐車場を探すのが大変		99	7	106
	家族に負担がかかる	24	74	8	106

移動手段	移動手段別の課題	回答者年齢区分			総計
		10代以下	20~60代	70代以上	
車(施設)	交通事故が不安	4	19	2	25
	自由に移動できない	2	17	1	20
	渋滞で時間が読めない	3	41	2	46
	乗降場所が遠い	1	18		19
	運賃が高い	17	113	19	149
タクシー	荷物が多いと大変	1	7	2	10
	呼んでも来ない、探せないときがある	3	115	10	128
	時間が読めない	3	25	1	29
	バス停または駅から目的地まで遠い	9	62	7	78
	運賃が高い	5	28	1	34
	家からバス停または駅が遠い	15	58	12	85
	荷物が多いと大変	6	76	12	94
バス	時間が読めない	16	121	14	151
	乗り換えなしといけない	5	65	5	75
	乗継が不便	3	62	8	73
	遅い時間に使えない	1	13	1	15
	バス停または駅から目的地まで遠い	4	68	7	79
	運賃が高い	11	47		58
	家からバス停または駅が遠い	10	113	19	142
モレール	荷物が多いと大変	7	87	10	104
	乗り換えなしといけない	2	16	4	22
	乗継が不便		15	5	20
	遅い時間に使えない		3	1	4
	総計		435	3,070	304

- 回答者の傾向**
- 10代、40代の回答割合が多い
 - 自家用車（自分で運転、家族で運転）合わせて約72%が車で移動しており公共交通以外に移動手段が無い回答者は13%
 - バイクや自転車の利用割合が比較的多い
- 移動手段毎の課題傾向**
- 小湾川沿いを中心に低い土地が広がり周囲との高低差が大きいことなどから、ここでも徒歩移動に関する課題が多く見られる
 - 他地域と同様に車（自分）では維持費や渋滞、タクシーでは運賃や探せないことがある、バスでは時間が読めないなどの課題が多い
 - 10代以下、20~60代において車による送迎に対して家族に負担をかけているという意識が高い事が伺える
 - 一部地域はモレール沿線であるものの、小湾川周辺など駅までの距離があり勾配も大きい地域があることから「家からバス停または駅が遠い」という意見が多い
- 市民ワークショップにおける主な意見（東地区との合同開催）**
- 東地区を参照

市民アンケート調査（市民の移動実態調査） 地区別集計

【中央西地区】



【人口】 23,767人 【世帯】 11,529世帯 ※令和5年6月末時点

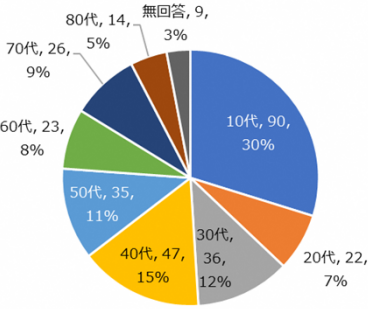
【土地利用】

- ・ 国道58号、国道330号の一部及び屋富祖通り、パイプライン通りの沿線商業系の土地利用の集積が見られる
- ・ その他の市街地は住居系を中心とする土地利用が展開するが、地域内を横断する小湾川沿いに斜面緑地が見られる

【都市計画マスタープランにおける道路交通課題】

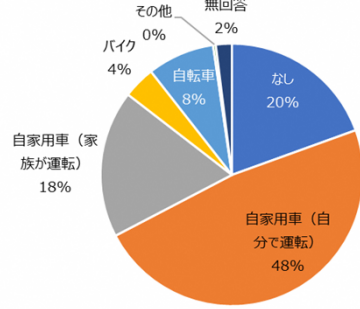
- ・ 基幹バスシステム、コミュニティバスを含めて、利便性の高い公共交通網の形成が求められる
- ・ 市街地の更新と連携した道路整備が求められる
- ・ 未整備道路の整備促進が求められる
- ・ 自転車道やウォーキングコースなどの整備検討が求められる

①年代別・回答者数の割合

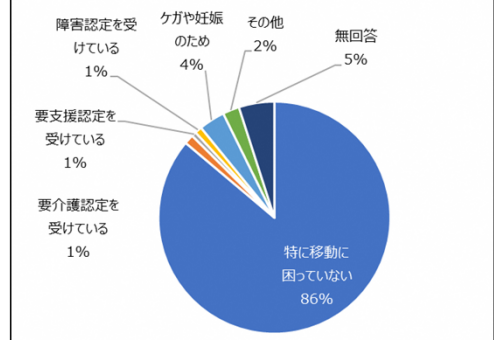


N=303

②徒歩・公共交通以外の移動手段



③移動時手助けの必要性和その理由



移動手段	移動手段別の課題	回答者年齢区分			総計	
		10代以下	20~60代	70代以上		
徒歩	移動範囲が狭い	16	51	6	73	
	荷物が多いと大変	40	97	9	146	
	近い将来移動が困難になる	6	6	4	10	
	交通事故が不安	11	15	0	26	
	自転車に乗れない	2	5	1	8	
	天候に左右される	37	102	12	151	
自転車	歩道・自転車専用道路がない	6	29	1	36	
	お酒が飲めない	0	3	0	3	
	移動範囲が狭い	2	4	0	6	
	荷物が多いと大変	8	29	2	39	
	近い将来移動が困難になる	0	2	1	3	
	交通事故が不安	6	16	2	24	
	自転車に乗れない	1	5	7	13	
	自転車購入費が高い	1	17	0	18	
	駐輪場が無い	2	11	0	13	
	天候に左右される	11	40	1	52	
シェアサイクル	歩道・自転車専用道路がない	8	24	1	33	
	お酒が飲めない	0	2	0	2	
	移動範囲が狭い	1	4	0	5	
	荷物が多いと大変	3	20	1	24	
	近い将来移動が困難になる	0	1	0	1	
	交通事故が不安	4	15	1	20	
	自宅や目的地からポートが遠い	1	29	0	30	
	自転車利用料が高い	1	5	0	6	
	借りられない事がある	2	14	1	17	
	駐輪場が無い	2	8	0	10	
	天候に左右される	3	27	0	30	
	歩道・自転車専用道路がない	4	20	0	24	
	バイク	お酒が飲めない	1	3	0	4
		近い将来運転できなくなる	1	1	0	2
交通事故が不安		2	17	0	19	
購入費、維持管理費が高い		2	8	0	10	
渋滞で時間が読めない		2	2	0	2	
天候に左右される		1	24	0	25	
車(自分)	目的地付近で駐車場を探すのが大変	1	6	0	7	
	お酒が飲めない	1	28	2	31	
	近い将来運転できなくなる	2	14	8	24	
	交通事故が不安	3	42	6	51	
	購入費、維持管理費が高い	1	82	3	86	
	渋滞で時間が読めない	2	65	1	68	
車(家族)	目的地付近で駐車場を探すのが大変	2	67	5	74	
	家族に負担がかかる	22	41	7	70	
	交通事故が不安	10	36	3	49	
	自由に移動できない	8	13	1	22	
	渋滞で時間が読めない	16	36	0	52	

移動手段	移動手段別の課題	回答者年齢区分			総計
		10代以下	20~60代	70代以上	
車(施設)	交通事故が不安	3	9	1	13
	自由に移動できない	4	14	1	19
	渋滞で時間が読めない	4	21	0	25
	乗降場所が遠い	3	10	0	13
タクシー	運賃が高い	18	72	14	104
	荷物が多いと大変	1	7	3	11
	呼んでも来ない、探せないときがある	9	64	10	83
バス	時間が読めない	2	16	0	18
	バス停または駅から目的地まで遠い	12	38	6	56
	運賃が高い	9	14	2	25
	家からバス停または駅が遠い	13	41	11	65
	荷物が多いと大変	11	59	6	76
	時間が読めない	26	76	7	109
	乗り換えなしといけない	4	34	2	40
	乗継が不便	6	39	3	48
	遅い時間に使えない	0	4	4	8
	バス停または駅から目的地まで遠い	6	29	4	39
モルレール	運賃が高い	12	20	0	32
	家からバス停または駅が遠い	17	92	15	124
	荷物が多いと大変	4	26	0	30
	乗り換えなしといけない	1	19	5	25
	乗継が不便	1	12	5	18
総計		415	1,800	185	2,400

回答者の傾向

- ・ 10代の回答割合が多い
- ・ 自家用車（自分で運転、家族が運転）合わせて約66%が車で移動しており公共交通以外に移動手段が無い回答者は20%と最も多い
- ・ バイクや自転車の利用割合が比較的多い

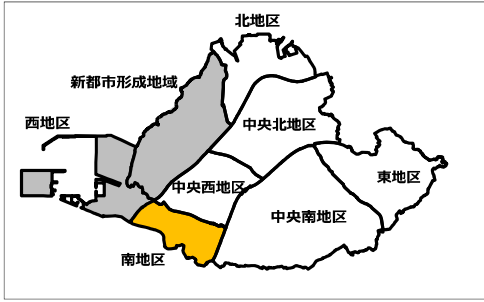
移動手段毎の課題傾向

- ・ 小湾川沿いを中心に低い土地が広がり周囲との高低差が大きい地域もあることなどから、徒歩移動に関する課題が多く見られる
- ・ 他地域と同様に車（自分）では維持費や渋滞、タクシーでは運賃や探せないことがある、バスでは時間が読めないなどの課題が多い
- ・ 10代以下、20~60代において車による送迎に対して家族に負担をかけているという意識が高い事が伺える
- ・ モルレール沿線から離れていることから「家からバス停または駅が遠い」という意見が多い

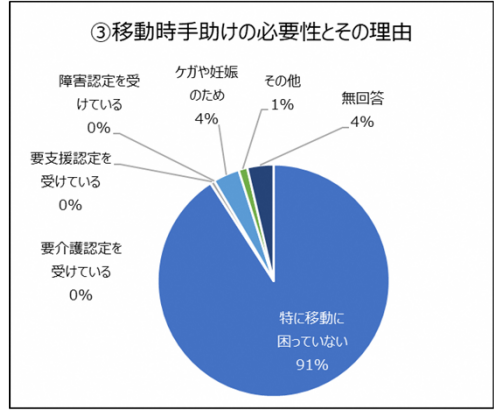
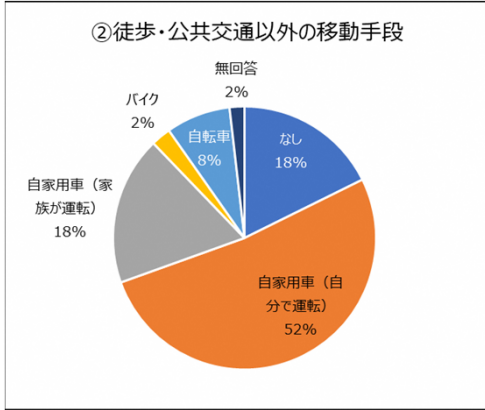
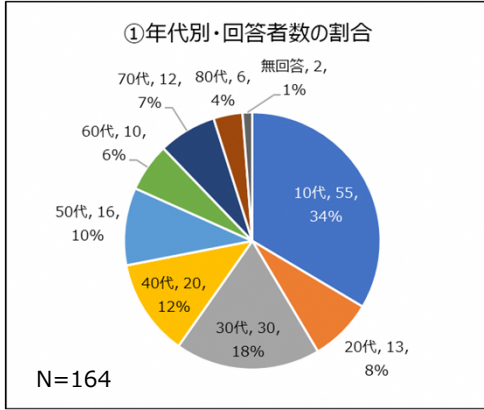
市民ワークショップにおける主な意見（南地区、西地区との合同開催）

- ・ 病院、学校、モルレール駅行のバスを運行、バスのサブスク（定額乗り放題）
- ・ クラウドファンディングなどで資金集め、市営駐車場の収益を運営に充てる（浦添に止めて那覇に行く流れを作る）、子供会でバスの乗り方教室

市民アンケート調査（市民の移動実態調査） 地区別集計



【人口】 13,704人 【世帯】 6,575世帯 ※令和5年6月末時点
 【土地利用】
 ・ 国道58号、パイプライン通り沿いに商業系の土地利用の集積が見られる
 ・ その他の地区は、住居系を中心とした土地利用となっている
 【都市計画マスタープランにおける道路交通課題】
 ・ 基幹バスシステム導入、コミュニティバスを含めて、利便性の高い公共交通網の形成が求められる



移動手段	移動手段別の課題	回答者年齢区分			総計
		10代以下	20~60代	70代以上	
徒歩	移動範囲が狭い	8	22	4	34
	荷物が多いと大変	21	52	5	78
	近い将来移動が困難になる		5		5
	交通事故が不安	2	8		10
	自転車に乗れない	5	7	2	14
	天候に左右される	21	46	6	73
	歩道・自転車専用道路がない	1	11		12
自転車	お酒が飲めない		3		3
	移動範囲が狭い	1	2		3
	荷物が多いと大変	6	15	1	22
	近い将来移動が困難になる		1		1
	交通事故が不安	6	13	2	21
	自転車に乗れない	2	8	5	15
	自転車購入費が高い	1	5	2	8
	駐輪場が無い	1	13	2	16
	天候に左右される	9	20	2	31
歩道・自転車専用道路がない	2	15	2	19	
シェアサイクル	お酒が飲めない		1		1
	移動範囲が狭い		2		2
	荷物が多いと大変		8		8
	交通事故が不安		5	1	6
	自宅や目的地からポートが遠い	1	13	2	16
	自転車利用料が高い		3		3
	借りられない事がある	1	7		8
	駐輪場が無い	1	5		6
	天候に左右される		8		8
歩道・自転車専用道路がない		7		7	
バイク	お酒が飲めない		4		4
	近い将来運転できなくなる			2	2
	交通事故が不安		10		10
	購入費、維持管理費が高い		5	2	7
	渋滞で時間が読めない	1			1
	天候に左右される	1	10		11
	目的地付近で駐車場を探すのが大変		3		3
車(自分)	お酒が飲めない		22		22
	近い将来運転できなくなる		9	6	15
	交通事故が不安		28	7	35
	購入費、維持管理費が高い	1	36	2	39
	渋滞で時間が読めない	1	47		48
	目的地付近で駐車場を探すのが大変		32	2	34
車(家族)	家族に負担がかかる		8	23	31
	交通事故が不安		5	22	27
	自由に移動できない		4	9	13
	渋滞で時間が読めない		10	24	34

移動手段	移動手段別の課題	回答者年齢区分			総計
		10代以下	20~60代	70代以上	
車(施設)	交通事故が不安		12		12
	自由に移動できない	1	8	2	11
	渋滞で時間が読めない	3	11		14
	乗降場所が遠い	1	8		9
タクシー	運賃が高い	10	35	7	52
	荷物が多いと大変		3		3
	呼んでも来ない、探せないときがある	4	32	1	37
バス	時間が読めない	3	8		11
	バス停または駅から目的地まで遠い	7	25	7	39
	運賃が高い	7	4		11
	家からバス停または駅が遠い	6	19	5	30
	荷物が多いと大変	6	25	3	34
	時間が読めない	8	37	5	50
	乗り換えなしといけない	1	19	3	23
	乗継が不便	4	20	1	25
	遅い時間に使えない		4		4
モノレール	バス停または駅から目的地まで遠い		26		26
	運賃が高い	9	7		16
	家からバス停または駅が遠い	9	49	7	65
	荷物が多いと大変	2	21	1	24
	乗り換えなしといけない		1		1
乗継が不便	1	2		3	
遅い時間に使えない		2		2	
総計		203	967	107	1,277

回答者の傾向

- 10代の回答割合が最も多い
- 自家用車（自分で運転、家族が運転）合わせて約70%が車で移動しており公共交通以外に移動手段が無い回答者は18%と多い

移動手段毎の課題傾向

- 南北方向にゆるやかな坂が多く、安謝川を跨ぐ移動には迂回などが必要なことから、ここでも徒歩移動に関する課題が多く見られる
- 他地域と同様に車（自分）では維持費や渋滞、タクシーでは運賃や探せないことがある、バスでは時間が読めないなどの課題が多い
- モノレールにおいては最寄り駅が古島駅となるが、距離があることから「家からバス停または駅が遠い」という意見が多い

市民ワークショップにおける主な意見（南地区、西地区との合同開催）

- 病院、学校、モノレール駅行のバスを運行、バスのサブスク（定額乗り放題）
- クラウドファンディングなどで資金集め、市営駐車場の収益を運営に充てる（浦添に止めて那覇に行く流れを作る）、子供会でバスの乗り方教室